※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | １２０４ |
|---|---|

# 令和８年度　家庭科

| 教科 | 家庭 | 科目 | 家庭基礎 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「家庭基礎　自立・共生・創造」　（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・まだまだ先のことのようですが、いずれ社会に出ていきます。社会に出るということは、「自分の生活を自分で創り出す」ことをしなければいけません。そのためには、頭で考えたり、体で感じたりすることがとても大切です。視点を過去ではなく今と未来におき、この先に訪れる「自立」に向けて、学んでいきましょう。
・学習はプリントを使用して進めていきます。ファイルは学校で準備しますので、教科書を持ってきてください。
・年間の授業のうち約８０％は実習になります。授業に参加してください。

## 2　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関りについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかる技能を身につけている。 | 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 第1章　生涯を見通す | 1　人生を展望する<br><br>2　目標をもって生きる | a:人の一生について，自己と他者，社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。<br>b,c:生涯を見通した自己の生活について主体的に考え，ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察したり、実践したりしようとしている。 | プリント | プリント | プリント |
| | 第2章人生をつくる | 1　人生をつくる<br><br>2　家族･家庭を見つめる<br><br>3　これからの家庭生活と社会 | a:・青年期の課題である自立について理解を深めている。<br>b:家庭や地域のよりよい生活を創造するために，男女が協力して，家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を考察している。<br>c:様々な人々と協働し，青年期の自立と家族・家庭及び社会について，課題の解決に主体的に取り組んでいる。 | プリント | プリント | プリント |
| | 第5章　共に生き，共に支える | 1 私たちの生活と福祉<br><br>2 社会保障の考え方<br><br>3 共に生きる | a:高齢者や障害のある人々など様々な人々が共に支え合って生きることの意義について理解を深めている。<br>b,c:家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもち，様々な人々との関わり方について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付け、実践しようとしている。 | プリント | プリント | プリント |
| | 第4章　超高齢社会を共に生きる | 2 高齢期の心身の特徴<br><br>4 これからの超高齢社会 | a:高齢期の心身の特徴および高齢者福祉について理解を深めている。<br>b,c:　高齢者の自立生活を支えるために，高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けており、また実践しようしようとしている。 | プリント | プリント | プリント |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第7章　衣生活をつくる | 1 被服の役割を考える<br><br>3 被服を管理する<br><br>4 被服を作る<br><br>6 これからの衣生活 | a:健康と安全，環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。<br>b:主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適，機能的な着装について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。<br>c:様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，衣生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | プリント | プリント<br>作品 | プリント<br>作品 |
| | 第９章　経済生活を営む | 1 情報の収集・比較と意思決定<br><br>2 購入・支払いのルールと方法<br><br>3 消費者の権利と責任<br><br>4 生涯の経済生活を見通す<br><br>5 家計をマネジメントする | a: 消費行動における意思決定について理解を深めている。契約の重要性について理解を深めている。消費者保護の仕組みについて理解を深めている。管理や計画について理解を深めている。リスク管理の考え方について理解を深めているとともに，情報の収集・整理が適切にできる。<br>b, c:自立した消費者として，生活情報を活用し，適切な意思決定に基づいて行動できるよう，責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けており、また実践しようとしている。 | プリント | プリント<br>ワークシート | プリント |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第３章　子どもと共に育つ | 1 命を育む<br><br>2 子どもの育つ力を知る<br>3 子どもと関わる | a:青年期の課題である自立について理解を深めている。親の役割と保育、乳幼児期の心身の発達と生活について理解を深めている。<br>b,c:様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，子供との関わりと保育・福祉について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | プリント | プリント | プリント |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 第６章　食生活をつくる | 1 食生活の課題について考える<br><br>2 食事と栄養・食品<br><br>3 食品の選択と安全<br><br>4 生涯の健康を見通した食事計画<br><br>5 調理の基礎 | a:食生活を取り巻く課題など，食と人との関わりについて理解している。ライフステージの特徴や課題に着目し，環境や健康に配慮した食生活および栄養の特徴について理解している。食品の調理上の性質について科学的に理解している。自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。おいしさの構成要素について科学的に理解している。目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。<br>b:主体的に食生活を営むことができるよう健康に配慮した自己と家族の食事について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。<br>c: 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，食生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | プリント<br>実習<br>テスト | プリント | プリント<br>実習<br>レポート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第8章　住生活をつくる | 1 住生活の変遷と住居の機能<br><br>2 安全で快適な住生活の計画 | a:住生活を取り巻く課題など，住まいと人との関わりについて理解を深めている。ライフステージの特徴や課題に着目し，住生活の特徴や防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解している。快適で安全な住空間を計画するために必要な情報を収集・整理できる。<br>b:〃・主体的に住生活を営むことができるようライフステージと住環境に応じた住居の計画について問題を見いだし，また防災などの安全に配慮した住生活とまちづくりについて課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。<br>c:様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，住生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | プリント | プリント | プリント |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度